

低いpHで使用可能なVario ASB C18を用いた 有機酸の一斉分析

<測定条件>

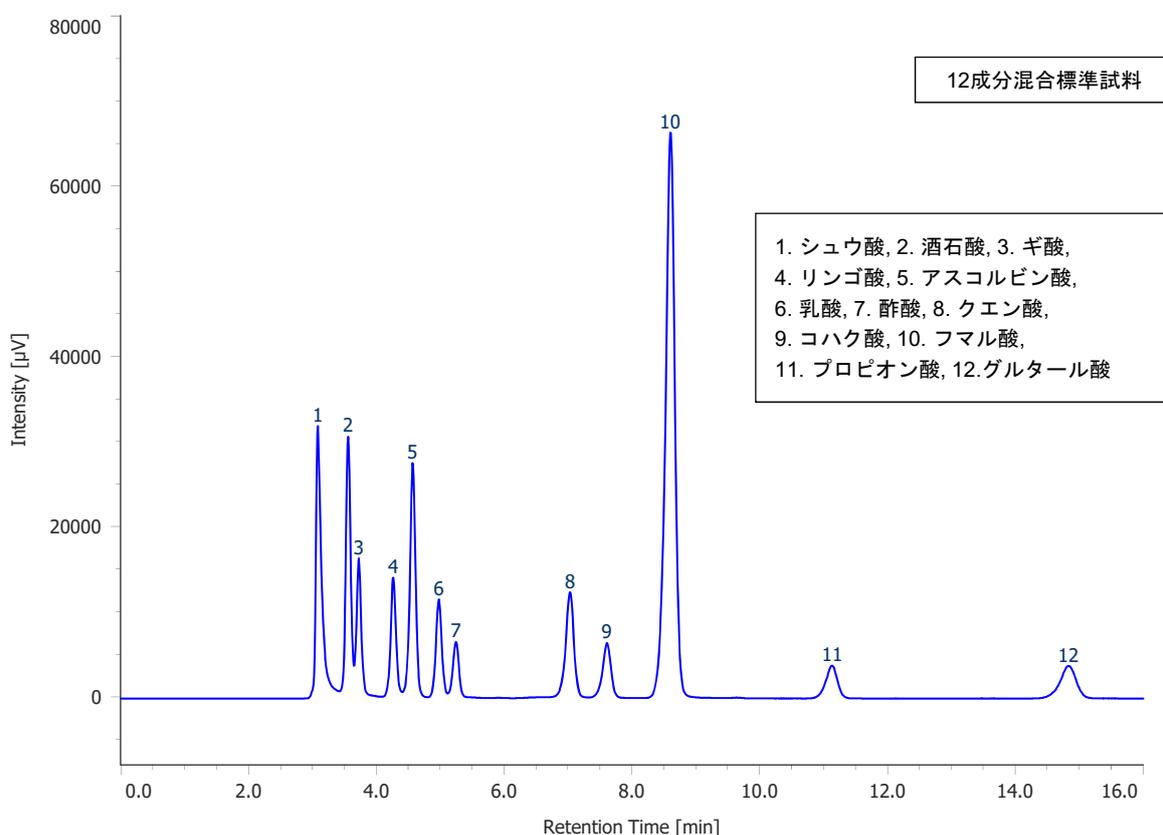
カラム : J-Pak Vario ASB C18
 (4.6 mm I.D. × 250 mmL, 5 μm)
 検出 : UV-210 nm
 移動相 : 過塩素酸水溶液 pH=2.0 (過塩素酸で調整)
 流量 : 1.0 mL/min
 カラム温度 : 40 °C
 測定試料 : 有機酸12成分混合試料
 梅酒・レモン果汁

<前処理-梅酒試料>

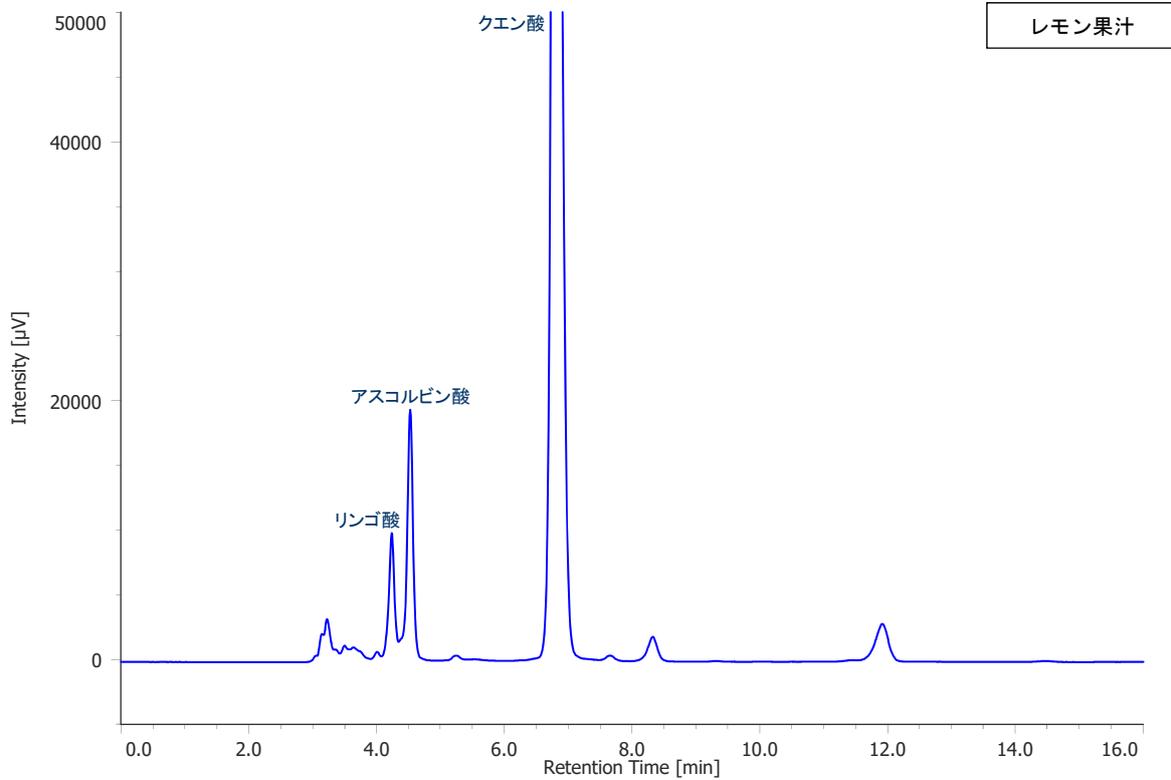
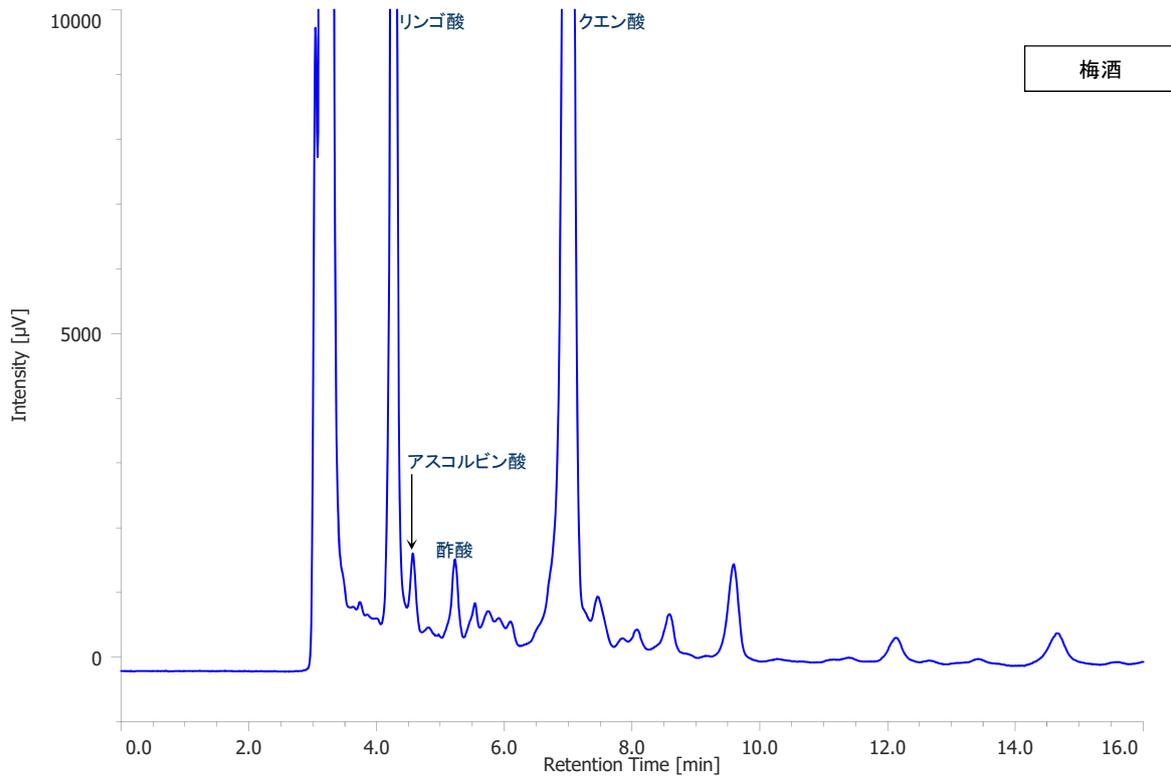
市販の梅酒を移動相で5倍希釈し、その溶液をJ-SPEC C18 (1000 mg/6 mL) を用いて固相抽出処理した。

<レモン試料>

市販のレモンを絞り、果汁を3000 rpmで10分間遠心分離した。その上澄液を移動相で25倍希釈した後、0.45 μmのメンブランフィルターでろ過した。その溶液をJ-SPEC C18 (1000 mg/6 mL) を用いて固相抽出処理した。



実試料の測定結果



Keyword : 有機酸, Vario ASB C18, C18カラム, UV検出器, シュウ酸, 酒石酸, ギ酸, リンゴ酸, アスコルビン酸, 乳酸, 酢酸, クエン酸, コハク酸, フマル酸, プロピオン酸, グルタル酸, 梅酒, レモン果汁